

出向く営農レポート

尾張旭地域

学校給食への出荷 キャベツの防除について



尾張旭地域担当
青木 崇史

学校給食にキャベツを出荷していただいている生産者に対し指導を行いました。出荷する際に懸念されるもののひとつに害虫被害があります。キャベツの苗を定植した8月から9月頃は気温が高く害虫の発生に特に注意が必要な状況でした。



そこで、適応害虫範囲が広く、長期の残効が期待できる「ベリマーク®SC」の定植前の※灌注処理を生産者へ提案しました。



また9月の長雨で病害虫の発生が懸念されたことから、圃場で生産者と一緒に生育状況を確認し、病害虫発生初期の防除の重要性などの指導を行いました。

12月1日、約300kgを学校給食センターに出荷することができました。



これから4月まで順次出荷していきます。



※灌注処理：セル苗やペーパーポットの段階で希釈した薬液を散布し、根から有効成分を吸収させ植物全体に行き渡らせる処理方法

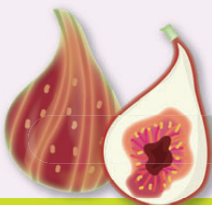
イチジクの生産者募集 しています!

豊明市間米町の貸出農地にてイチジク生産者(イチジク分科会会員)を募集しています。

JAあいち尾東管内ではイチジクの生産を盛んに行っています。

豊明・東郷・日進地域では8名の生産者が『イチジク分科会』を組織し、営農職員及び関係機関の指導のもと栽培に関する情報共有や勉強会、圃場巡回などを行い市場へ共同出荷しています。

貸出農地は昨年までイチジクの生産が行われていた圃場であり、今年8月から出荷が可能です。営農職員やイチジク分科会メンバーで栽培・出荷等のサポートをしていきますので、ご興味のある方はお問い合わせをお待ちしております。



イチジクの圃場



出荷目揃い会



(お問い合わせ先) 南部営農センター東郷事務所 TEL0561-39-1775